

資料6

静岡市パートナーシップ宣誓制度に係る意見等(第1回審議会まとめ)

	タイトル	意見(主旨)	考え方・対応	備考
1	宣誓の内容	職員3名で50分程度の内容について教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・3名の内訳は、待ち合わせ場所から宣誓場所へ案内する職員1名、宣誓受付する職員2名。 ・50分の内訳は、待ち合わせ場所から宣誓会場への移動。宣誓書への記入、宣誓書類の確認で約15分。受付担当が課へ行き、宣誓の決裁事務と公印事務で約15分。 会場へ戻り、宣誓書受領証、受領カードを宣誓者に交付などで計約50分。 	
2	宣誓の受付	宣誓希望者からの意見。仕事は平日休めない。月に1回でもよいので、土日祭日に宣誓を受け付けてほしい。	平日以外の宣誓受付を検討し、進めていく。	決裁事務・公印事務の調整
3	行政・企業サービス	どのようなサービスを提供しているか「見える化」してほしい。	ホームページ等における行政・企業サービスの公表方法を検討し、進めていく。	他自治体の公表方法を調査
4	市民の反応	制度を開始し、マイナスの反響や批判的な意見があったか。	マイナスの反響や批判的な意見はない。宣誓カップルからは、本当に感謝いただいている。	
5	職場からの相談体制	<p>宣誓カップルから、職場の上司へ報告した際、上司は「今までにない同性カップルへの対応」に動揺したという話を聞いた。報告を受ける職場に対し、不安な気持ちや対応について相談できる場所があることを知ってもらおうとよい。</p> <p>男女共同参画・人権政策課を窓口にして、そこから専門機関につなぐということもできるだろう。</p> <p>対応に悩み、アウトティングをしてしまうと、とりかえしが見つからないことになる。</p> <p>職場の上司など、これまでに経験がないことを不安に思う気持ちはもつともである。その気持ちをサポートすることで、カップルが安心して働けると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者支援団体や専門機関を紹介する、繋ぐといった体制を整えていく。 ・全庁内(校長会含む)、企業へ制度の周知を進めていく。(企業ガイドラインとともに) 	
6	寄せられる意見等への対応	市民からの反対意見、職場からの相談などは、職員による説明、関係機関への案内により、制度の理解を深める一歩になる。	様々な機会を捉え、制度の周知に努めていく。	
7	パンフレット	宣誓制度のパンフレットなので、制度、性の多様性についてのページを入れ替えたかどうか。	ページを入れ替える。【第1回審議会後対応済み(HP修正済み)】	